

## 団体名：特定非営利活動法人 子どもと共に歩むフリースペースたんぽぽ

活動地域：横浜市

助成額：99,973円

ホームページ：<https://www.freespace-tanpopo.com/>

### 【当初の目的に対しての結果】

コロナ禍で、22年度もコロナ感染が何人かに広がり、閉所した期間もありましたが、それ以外は、食事づくりも続けてこれました。来ている子どもたちや若者の関係も少しずつ近しくなりました。今まででは、作ったものを提供するようにしていましたが、食事づくりもコロナ以前のように、子どもたちにも参加してもらう場面を少しずつ再開しています。一緒にオムライス、パンケーキなどを作りました。お茶をたてたり、かき氷を作ったりもしました。

子どもたち一人ひとりにも、変化が見られます。たんぽぽでは、お母さんと離れられなくて、ほとんどお話をしなかった子どもが大声を出せるようになったり、ひとりでバスで来られるようになりました。たんぽぽ以外でも一緒にオンラインゲームをしたり、仲良くなっている姿も見られます。子どもたちが元気になってきているので、活動の幅も少しずつ広がってきています。

一緒に食べながら楽しい時間を過ごすという小さな積み重ねは、子どもの心にもあたたかな時間をつくることができたと思っています。

### 【組合員へのメッセージ】

東都生協組合員の皆様へ

当団体への支援、本当にありがとうございました。「NPO 法人子どもと共に歩むフリースペースたんぽぽ」は不登校の子どもや若者の居場所や保護者の相談・交流などを行っています。不登校の小中学生は少子化であるにもかかわらず、24万人を超え、毎年最多を更新しています。学校へ行かないということは誰にでも起こる事と言われても、当事者本人の苦しさとそれを見ている保護者の不安は変わりません。「たんぽぽ」は小さな居場所ですが、食を大切にして、子どもや親たちのつながりを作っていました。コロナ禍となり、十分にできているとは言えませんが、一緒に昼食やおやつをつくり、食べながら、子どもたちから聞こえてくる声に耳を傾けて活動を続けています。感覚が過敏な人たちもいて、食べられないものも多く、メニューを決めるのが大変ですが、やはり、みんなで食事をする時間は楽しいです。これから、感染の状況がどうなるかは不安ですが、楽しく食べられる時間をこれからも継続して行きたいと思います。物価高の中、本当に支援していただいた皆さんに感謝です。ありがとうございました。

## 【感想・意見・要望など】

今年度も、大変お世話になりました。今年度は、手書き計算からパソコンで計算できる資料を送っていただき、ありがとうございました。全体の団体ではいろいろな状況があって同じにはならないと思いますが、たんぽぽでは、メール等でやり取りができるようになったので、助かります。私たちのスペースは、大人数で1回の行事という企画ではなく、日々、少人数の子どもや若者と食事やおやつを作り提供しているので、必要なものが少量で種類が多くなってしまい、何度も電卓をたたいて計算していたので、大変助かりました。確認したつもりでしたが、種類の番号を間違え、お手数をかけてしまったので、今後、気をつけたいと思います。

5月からは、コロナも5類にということでいろいろなことが一気に緩和されました。これからどんな風になって不安でもあります。できることをみんなで考え行っていきたいと思っています。23年度もよろしくお願ひいたします。

